

<対策のポイント>

海外におけるインフラ受注において、我が国が**価格競争だけで他の競合国に勝つのは困難**となってきたことから、質の高い**食のインフラ輸出を推進**するため、生産、製造・加工、流通、消費の各段階における様々なフードバリューチェーン構築に係る**技術の優位性・パッケージ化等**に関する調査・検討を行います。

<政策目標>

我が国企業の海外展開の促進により、政府が取り組むインフラシステム輸出の拡大に貢献（約21兆円 [平成28年] → 約30兆円 [平成32年]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

インフラ輸出技術利活用検討調査事業 17（17）百万円

○ 優位技術・パッケージ化の調査

我が国の**食のインフラに係る技術**について、現地調査や企業への聴き取り等を通じ、相手国のニーズ、我が国の**技術の優位性**、競合国の動向、**他の技術とのパッケージ化**（我が国企業・ODAのみならず、現地・第三国企業との連携を含む）の可能性等を調査します。

○ インフラ技術活用のための研究会の開催

有識者によるインフラ技術活用のための研究会を開催し、我が国の食のインフラに係る**技術の優位性とパッケージ化**、当該技術の利活用による**食のインフラ輸出の推進等**について検討します。

<事業の流れ>



フードバリューチェーン関連技術

